

函館市地域公共交通計画

地域の実態・ニーズ調査結果概要

本資料の構成

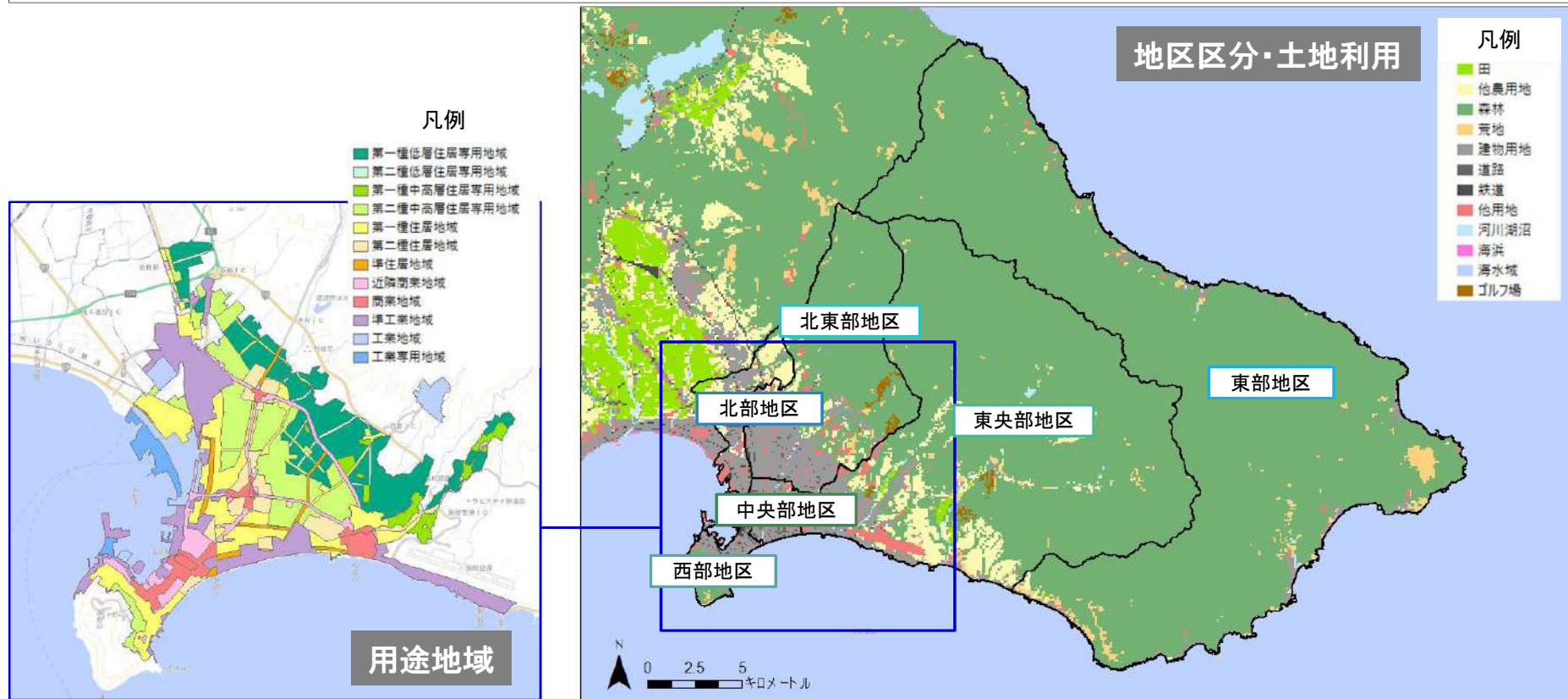
－1. 函館市の概況(地形地勢、人口、主要施設、観光入込動向)

－2. 函館市の公共交通の現状

－3. 函館市内の移動特性・ニーズ

1. 函館市の概況 ①地区区分・土地利用

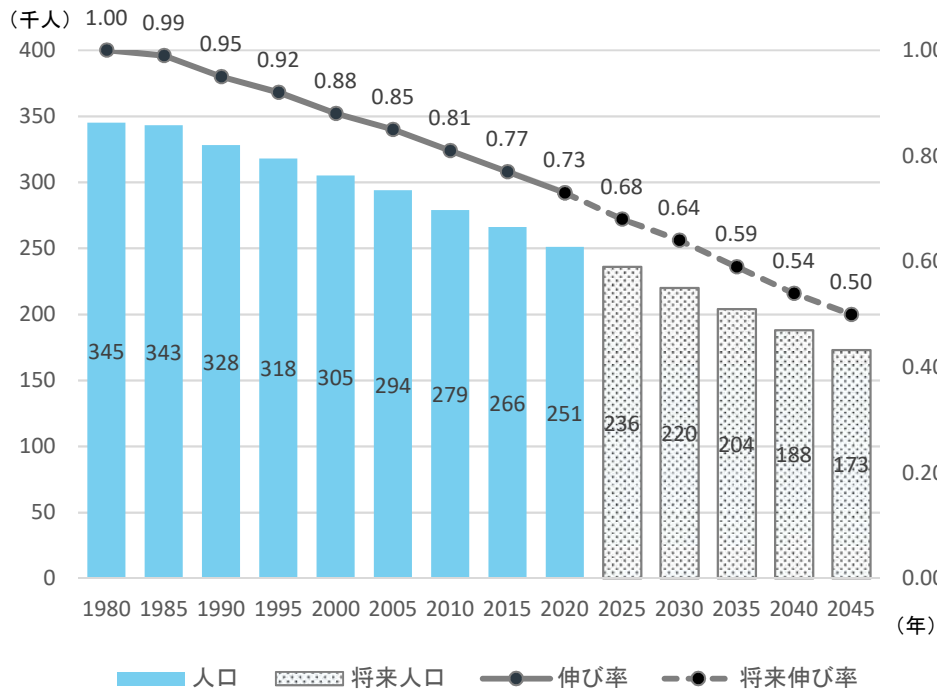
- 市域は、旧函館市域の5地区(中央部・西部・北部・北東部・東央部)と旧戸井町・恵山町・楸法華村・南茅部町の東部地区の6地区に区分して整理する。
- 建物用地(市街地)は、旧函館市域の市街部(中央部地区・西部地区・北部地区、及び北東部地区・東央部地区の一部)に集中し、それ以外の市域は大部分を森林が占める。
- 用途地域は、商業系地域が西部地区、中央部地区、工業系地域が北部地区、住居系地域が北東部地区、東央部地区に広がっている。



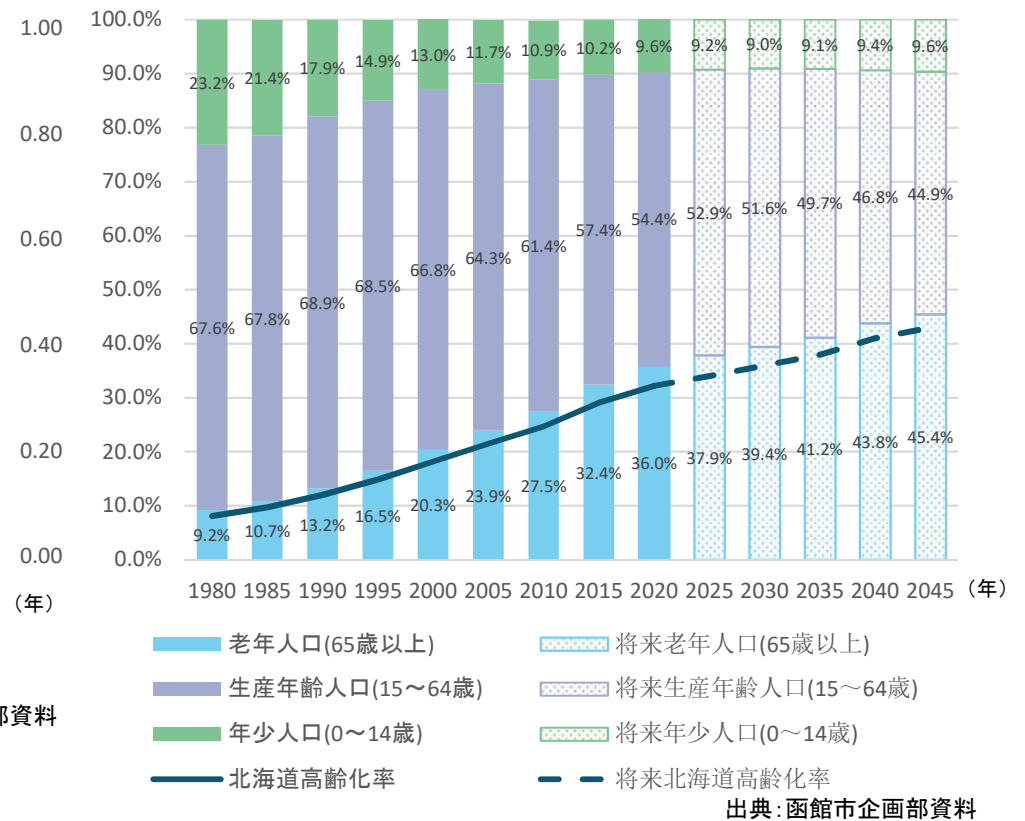
出典:地理院地図、国土数値情報

1. 函館市の概況 ②人口推移・分布(市全体)

- 人口は減少傾向であり、2045年には、1980年の半分以下の16万人になる予想である。
- 高齢化率は北海道平均よりも高い水準で推移している。
- 人口減少及び高齢化が進むため、高齢者に配慮し、全世代が利用できる公共交通網の形成を行う必要がある。



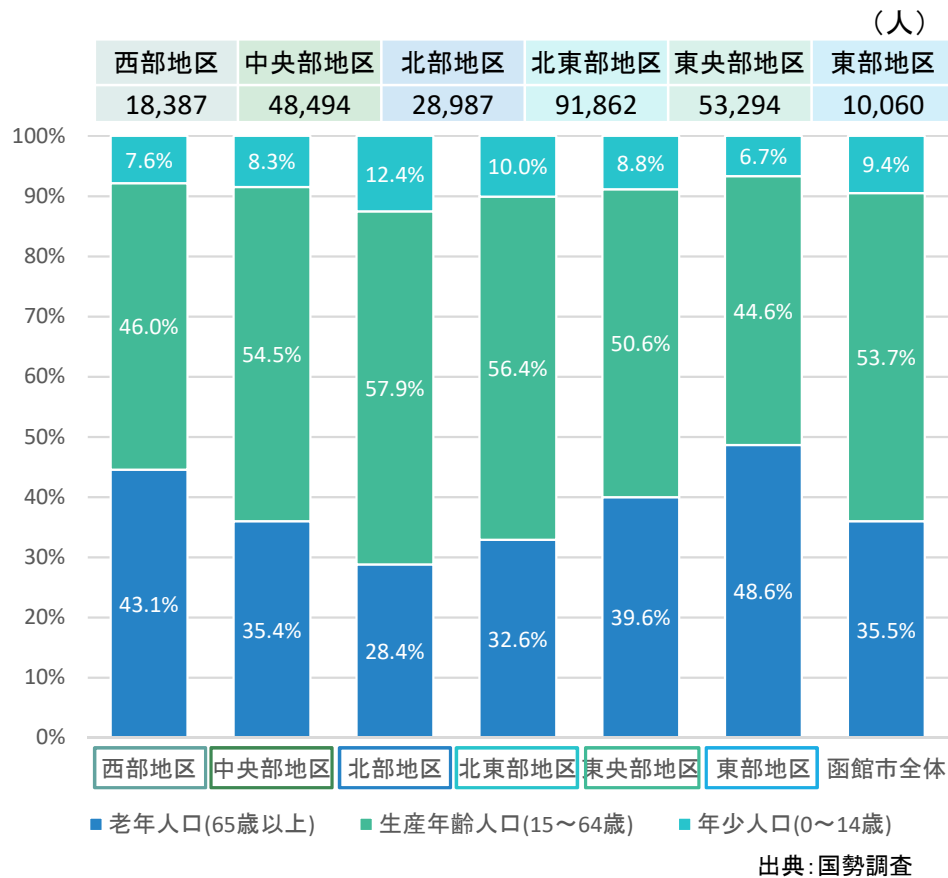
函館市の人口推移と1980年を100%とした際の伸び率



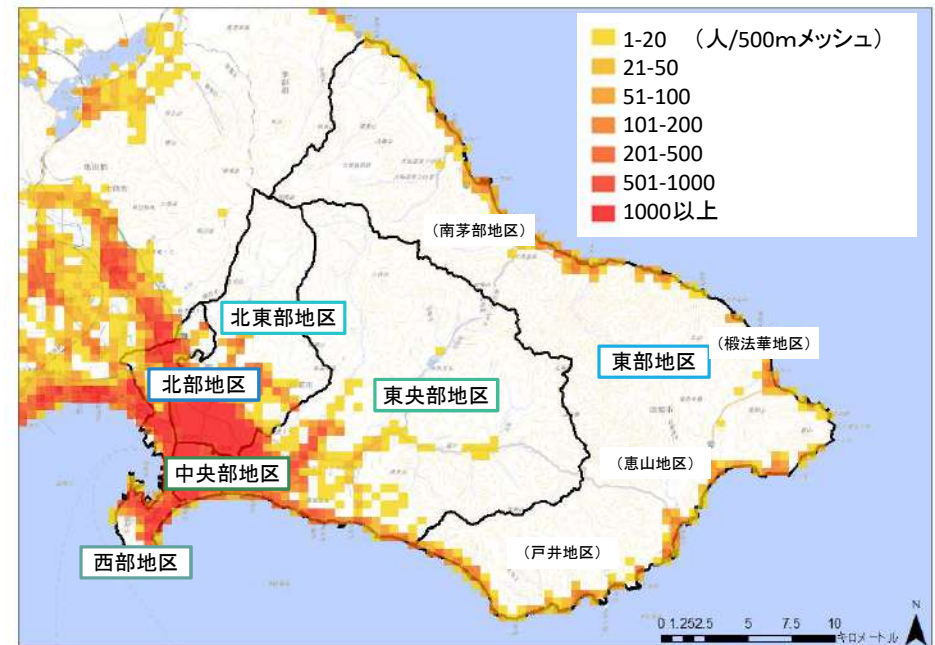
函館市の年齢区分別人口割合推移

1. 函館市の概況 ②人口推移・分布(地区別)

- 年齢区分別人口割合は地域間で大きな差がある。
- 東部地区では、函館市の中でも高齢化率が高く、高齢化率が48.6%である。
- 一方で北部地区は人口が増加しているだけでなく高齢化率も低く28.4%である。



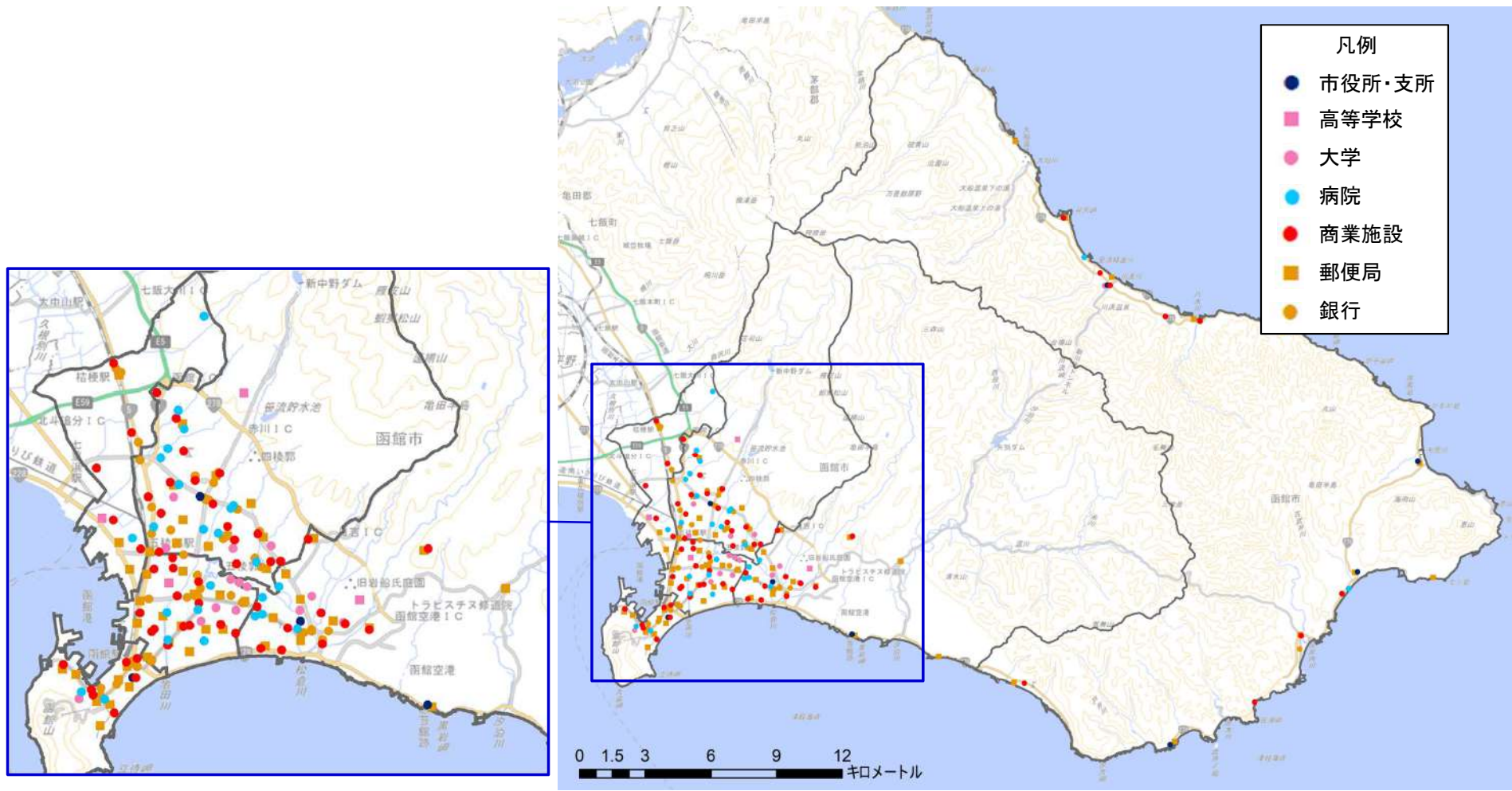
2020年(R2)の函館市と6地域別の年齢区分別人口割合



2020年(R2)500mメッシュにおける人口

1. 函館市の概況 ③主要施設の立地状況

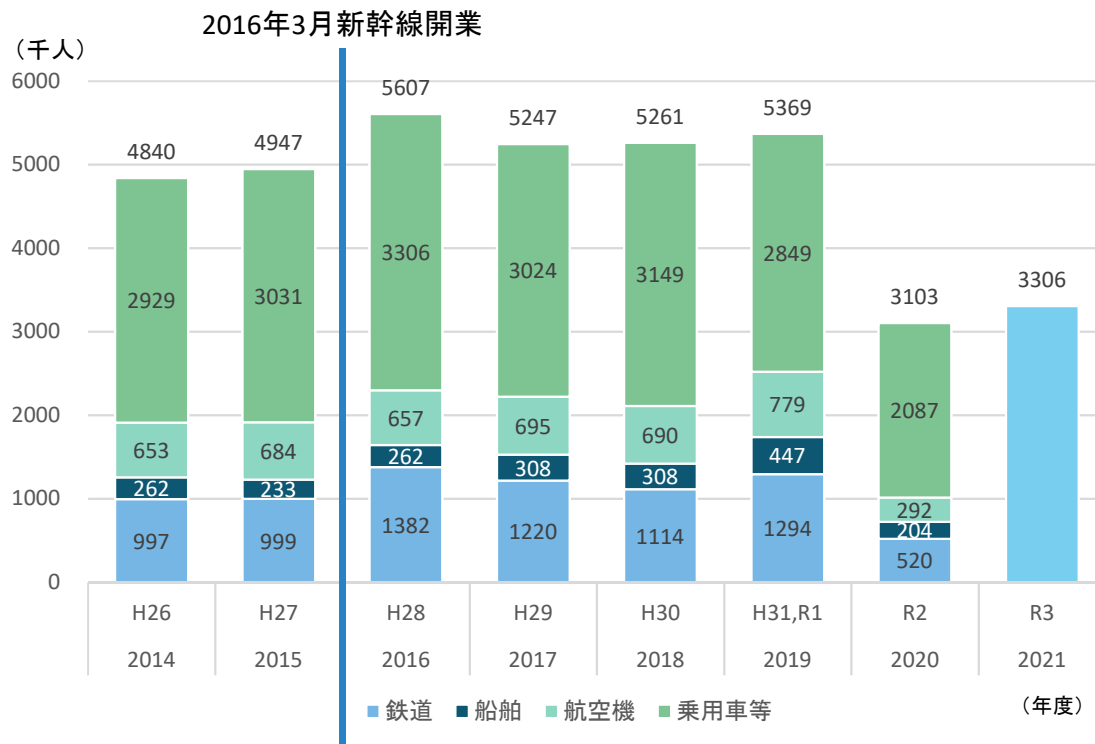
➤ 函館駅前エリアや五稜郭エリア，美原エリア，湯川エリアに施設が集積している。



出典：地理院地図、函館市HP

1. 函館市の概況 ④観光動向

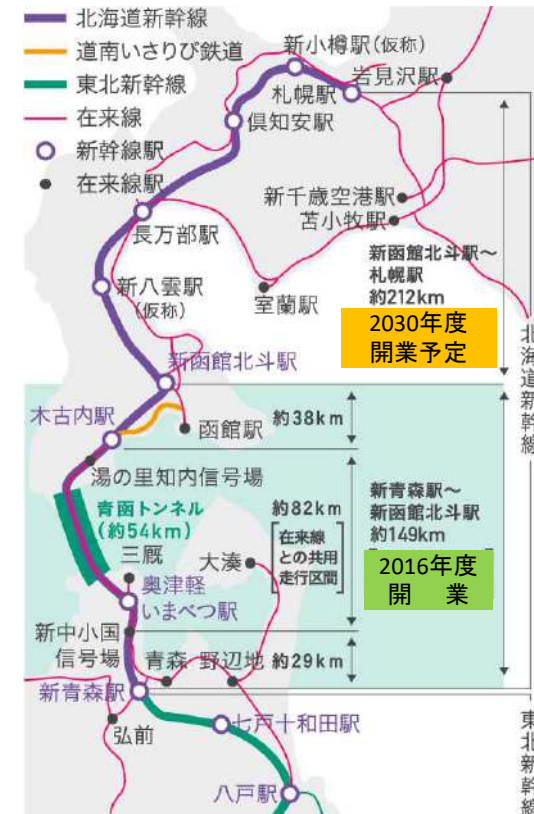
- 観光客の半分以上が自動車利用である。
- 2016年3月の北海道新幹線開業後は、開業前よりも観光客は増えている。
- 2030年度には北海道新幹線の札幌延伸が予定されており、鉄道利用の観光客がさらに増える可能性がある。



出典：函館市HP来函観光客入込客数推計

函館市観光客数の推移と移手段の内訳

※船舶は、フェリーおよびクルーズ船の合算値
乗用車等はバス及び乗用車を含む
統計書記載は2020年までにより2021年は総数のみ記載

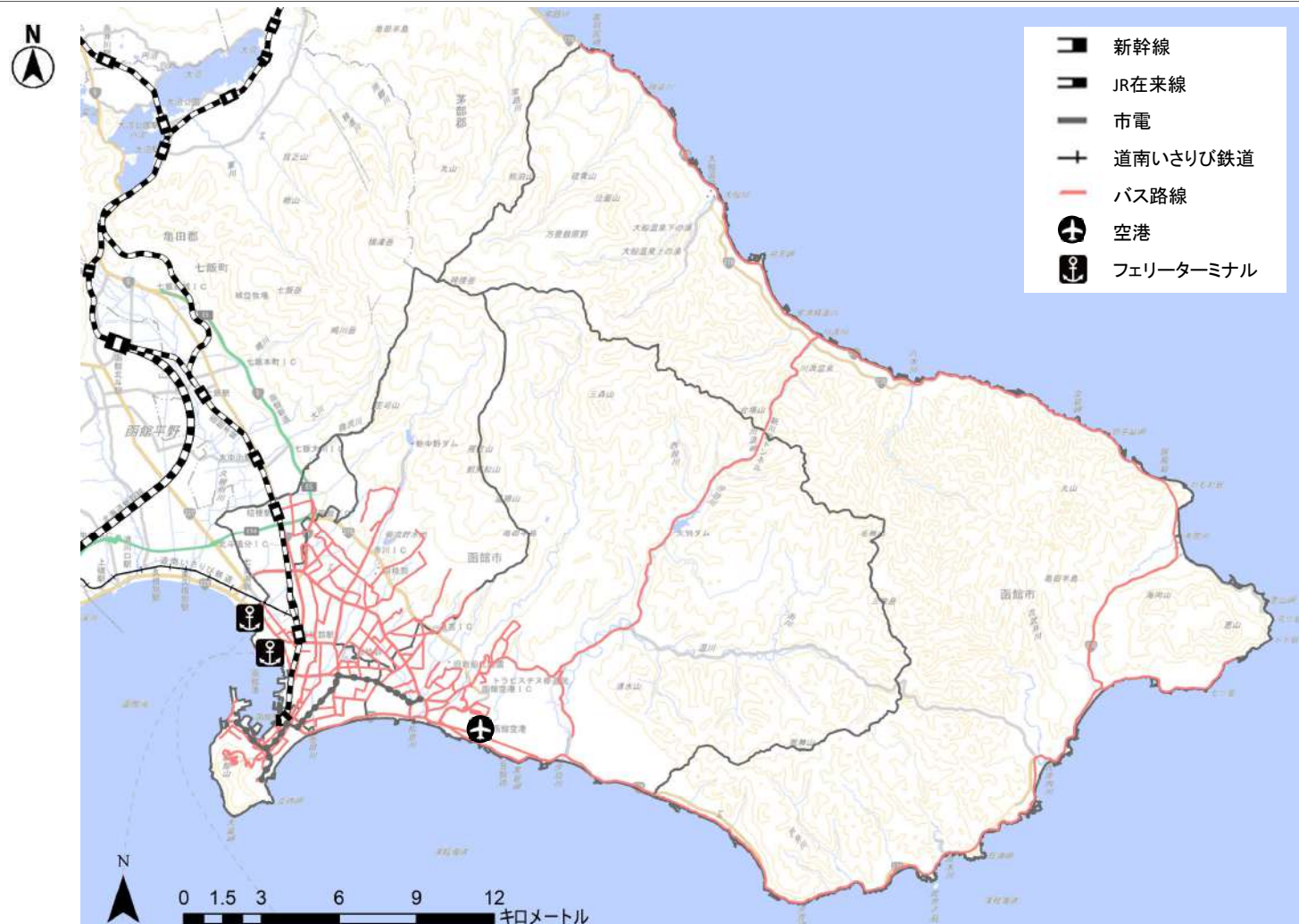


出典：北海道旅客鉄道株式会社WEB(一部加工)

北海道新幹線概要図

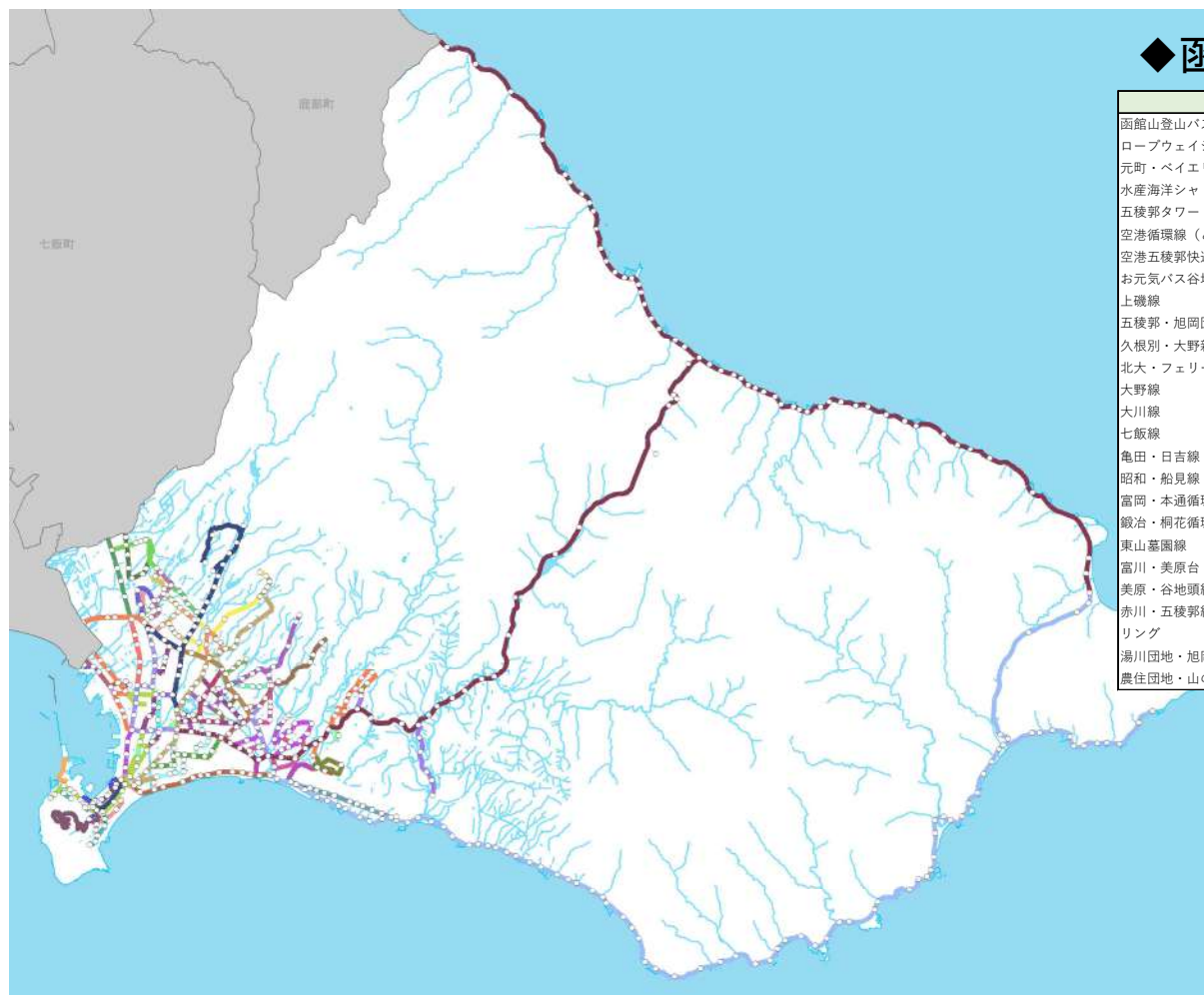
2. 地域公共交通の状況 ①ネットワーク概況

- 市電とJRを交通基幹軸とし、幹線道路には概ねバス路線が組み込まれており、市内主要地点への公共交通での移動を支えている。



2. 地域公共交通の状況 ②路線バス

➤ 函館市内では、51路線(70系統)の路線バスが運行している。



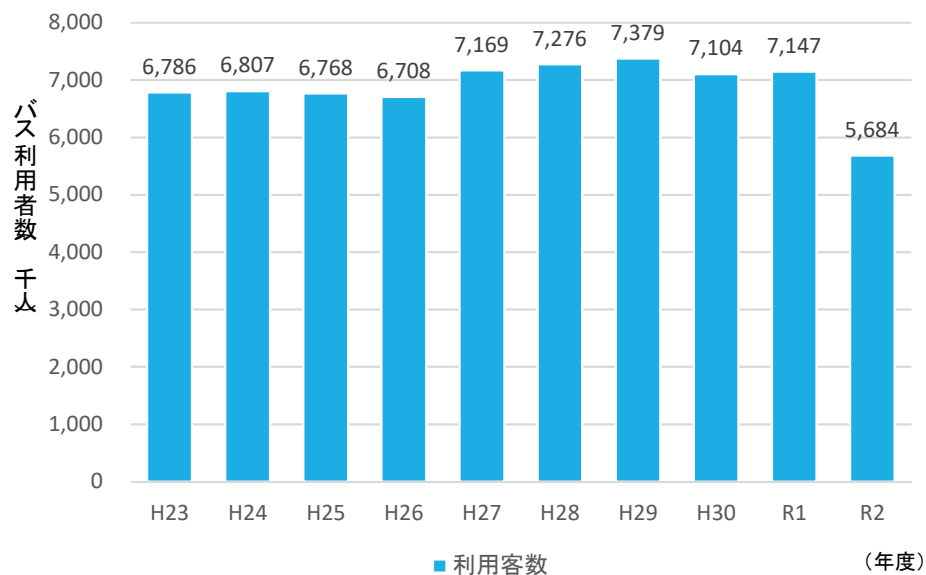
◆函館市内バス路線一覧

路線名	系統番号	路線名	系統番号
函館山登山バス	1	陣川・鍛冶線	61
ロープウェイシャトルバス	2	中の橋線	62,63
元町・ベイエリア周遊号	3	鍛冶・旭岡団地線	66
水産海洋シャトル ※運休中	4	陣川・昭和線	69
五稜郭タワー・トラピスチヌシャトルバス	5	米原・古川線 ※70A系統運休時運行	70
空港循環線(とびっこ)	7	中の沢線	71
空港五稜郭快速線 ※一部運休中	8	山の手・昭和線	72
お元気バス谷地頭号	9	昭和・日吉線	74
上磯線	11,18,19	空港・日吉線	75
五稜郭・旭岡団地線	12	日吉・戸倉線	81
久根別・大野新道線 ※平日のみ,学休日運休	13	見晴線	82
北大・フェリー線	16	日乃出・五稜郭循環バス	84
大野線	21,22,23,25	花園・人見線	85
大川線	30,32	下海岸線	91
七飯線	33,36	望洋団地線	94
亀田・日吉線	41,42	日吉漁火線	95
昭和・船見線	43	函館空港線	96
富岡・本通循環線	46,64	川汲線	99
鍛冶・桐花循環線(ループ)	47,67	大沼公園・鹿部線	210
東山墓園線	50	函館・長万部線	310,311,312
富川・美原台・大川線	51,73	函館・知内線	410,411
美原・谷地頭線	53	快速松前号	510
赤川・五稜郭線	55	函館・江差線	610
リング	58	快速瀬棚号	710
湯川団地・旭岡団地線	59,76,78	(路線名称なし)	45,52,56,224
農住団地・山の手線	60		

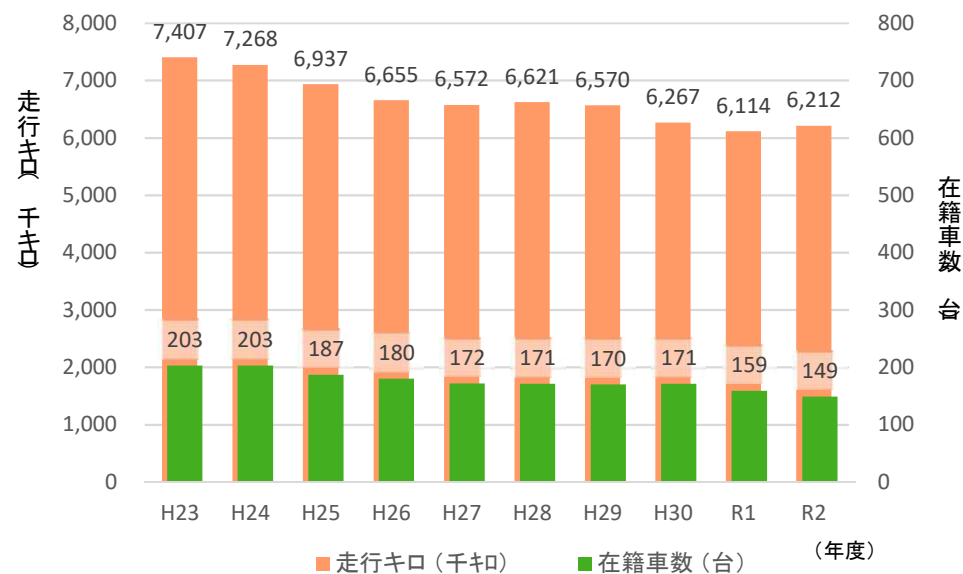
2. 地域公共交通の状況 ②路線バス

- 市内のバス利用者数は横ばい状態であったが、R2においては新型コロナウイルスの影響で、大幅に減少している。
- 在籍車数は減少傾向で、H23/R2で3割程度減少している。
- 在籍車数の減少と同様の傾向で、走行キロも2割程度減少している。

◆バス利用者数



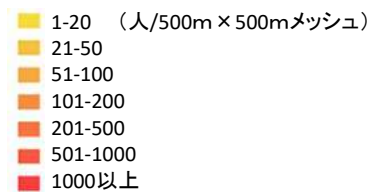
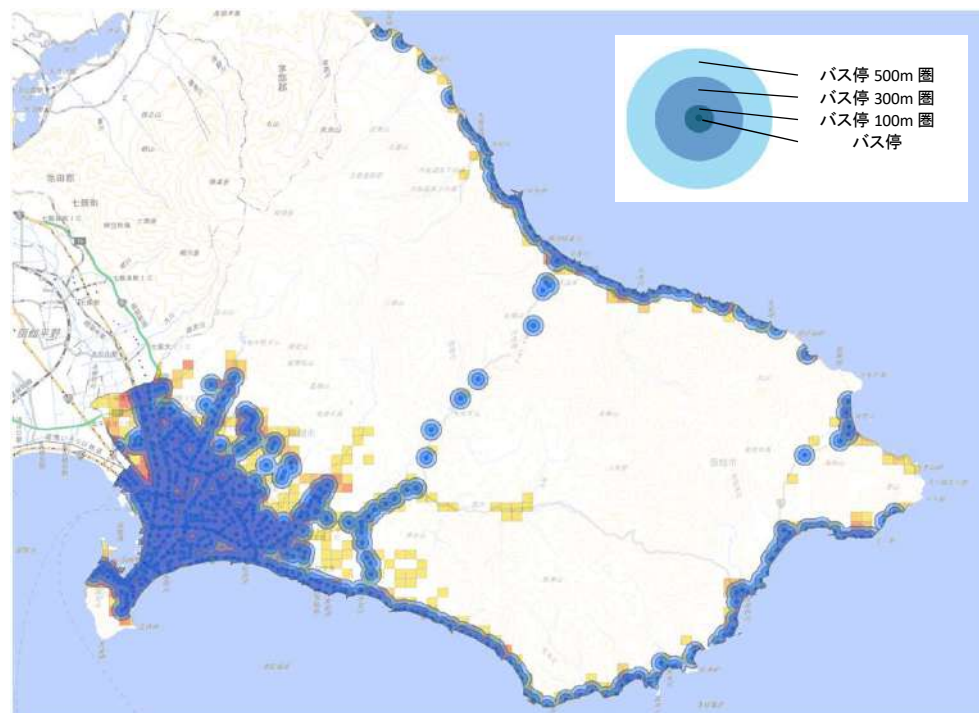
◆走行キロと在籍車数



出典: 函館市統計書

2. 地域公共交通の状況 ②路線バス

- バス停圏300mでは約88%、500mでは約96パーセントの人口をカバーできている。
- 地区別にみるとやや東部・北部地区のカバー率が他の地区に比べ低いことがわかる。



函館バスのバス停による人口のカバー率

	バス停500m	バス停300m	バス停100m
東部地区	90.93%	70.20%	17.26%
北部地区	85.95%	68.34%	18.14%
北東部地区	99.28%	90.98%	26.73%
東中部地区	98.45%	92.97%	31.03%
中央部地区	100.00%	97.08%	31.88%
西部地区	96.25%	87.91%	34.46%
市全域	96.88%	88.43%	27.61%

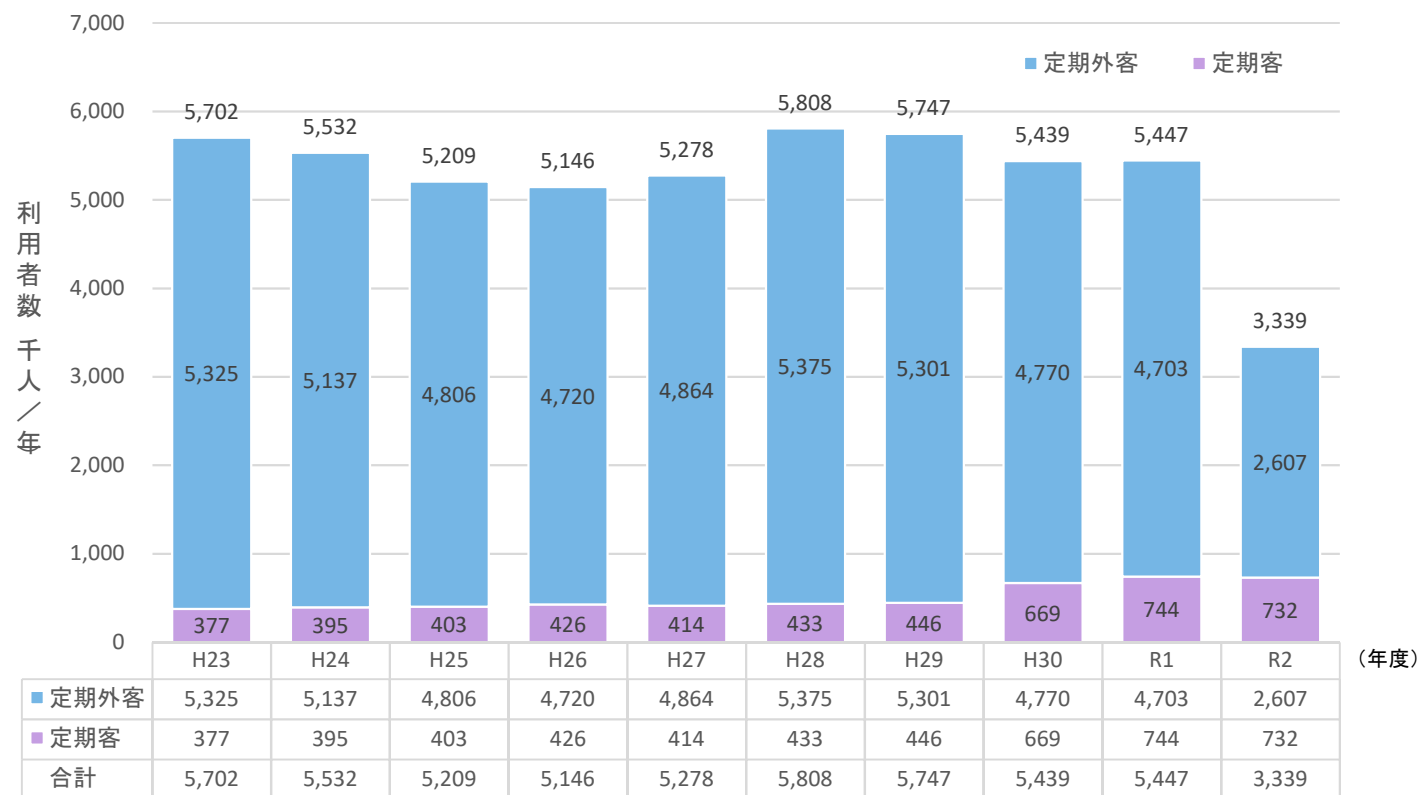
出典：地理院地図、函館バス提供

函館バスのバス停のサービスエリア

2. 地域公共交通の状況 ③市電

- 市電利用者数は横ばい状態であったが、R2においては新型コロナウイルスの影響で、大幅に減少している。

◆市電利用者数

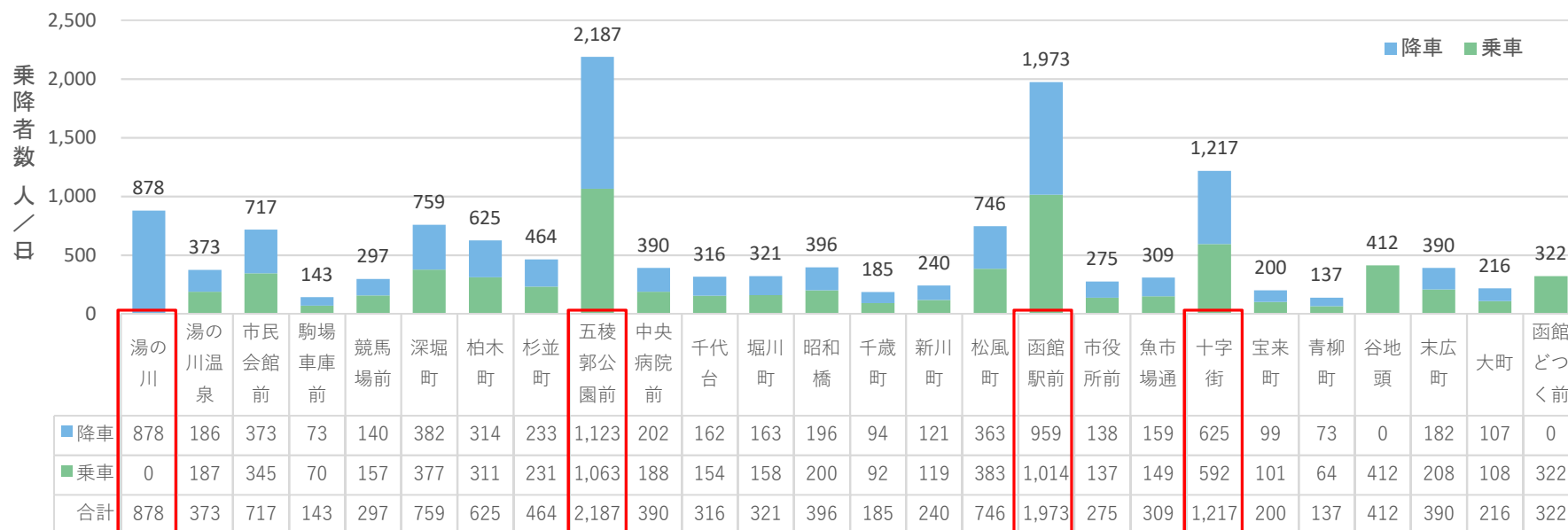


出典：函館市統計書

2. 地域公共交通の状況 ③市電

➤ 五稜郭公園前は2,000人以上が乗降しており、函館駅前と十字街でも1,000人を超えている。

◆市電電停別乗降者数



出典：函館市企業局交通部(2021(R3)年度平均値)

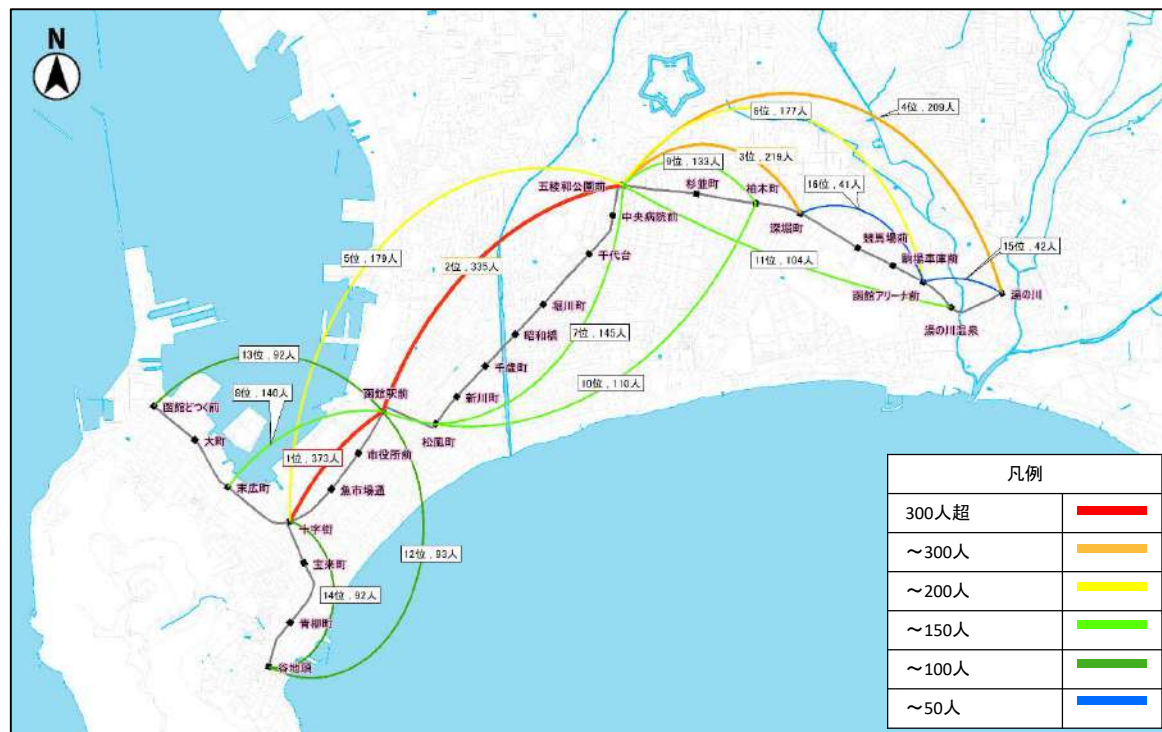
2. 地域公共交通の状況 ③市電

- 利用者が最も多い電停間は函館駅前～十字街間、次いで五稜郭公園前～函館駅前間となっており、利用者が一日300人を超えている。

◆OD組み合わせ

順位	電停A	電停B	利用者 (人/日)
1位	函館駅前	十字街	374
2位	五稜郭公園前	函館駅前	335
3位	深堀町	五稜郭公園前	219
4位	湯の川	五稜郭公園前	209
5位	五稜郭公園前	十字街	179
6位	市民会館前	五稜郭公園前	178
7位	五稜郭公園前	松風町	145
8位	函館駅前	末広町	141
9位	柏木町	五稜郭公園前	133
10位	柏木町	函館駅前	110
11位	湯の川温泉	五稜郭公園前	104
12位	函館駅前	谷地頭	93
13位	函館駅前	函館どつく前	92
14位	十字街	谷地頭	92
15位	湯の川	市民会館前	43
16位	市民会館前	深堀町	42

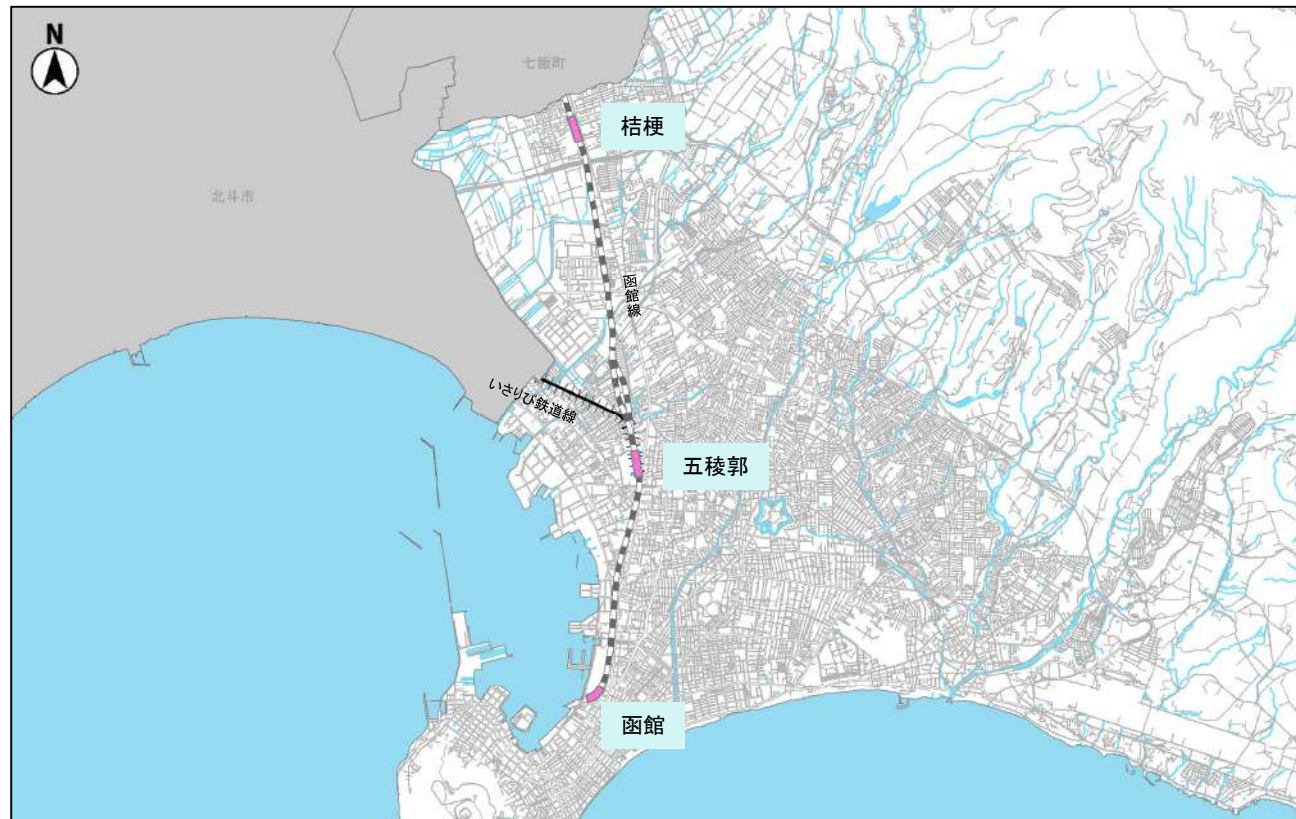
電停間利用者を区間集計図化



出典：函館市企業局交通部（2021（R3）年度平均値）

2. 地域公共交通の状況 ④鉄道

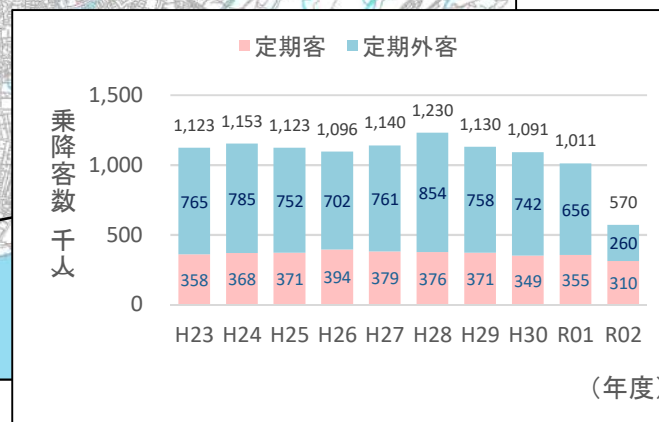
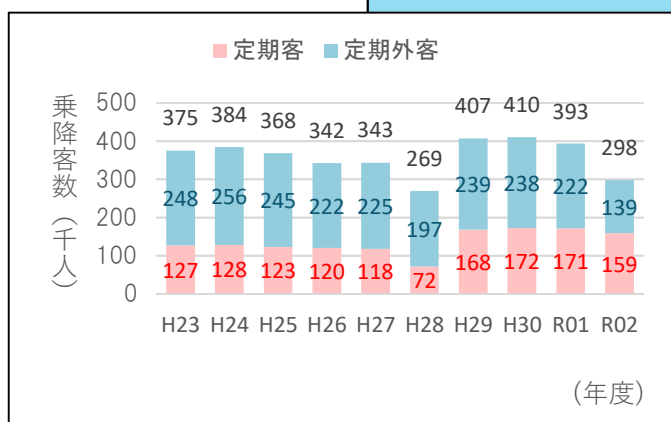
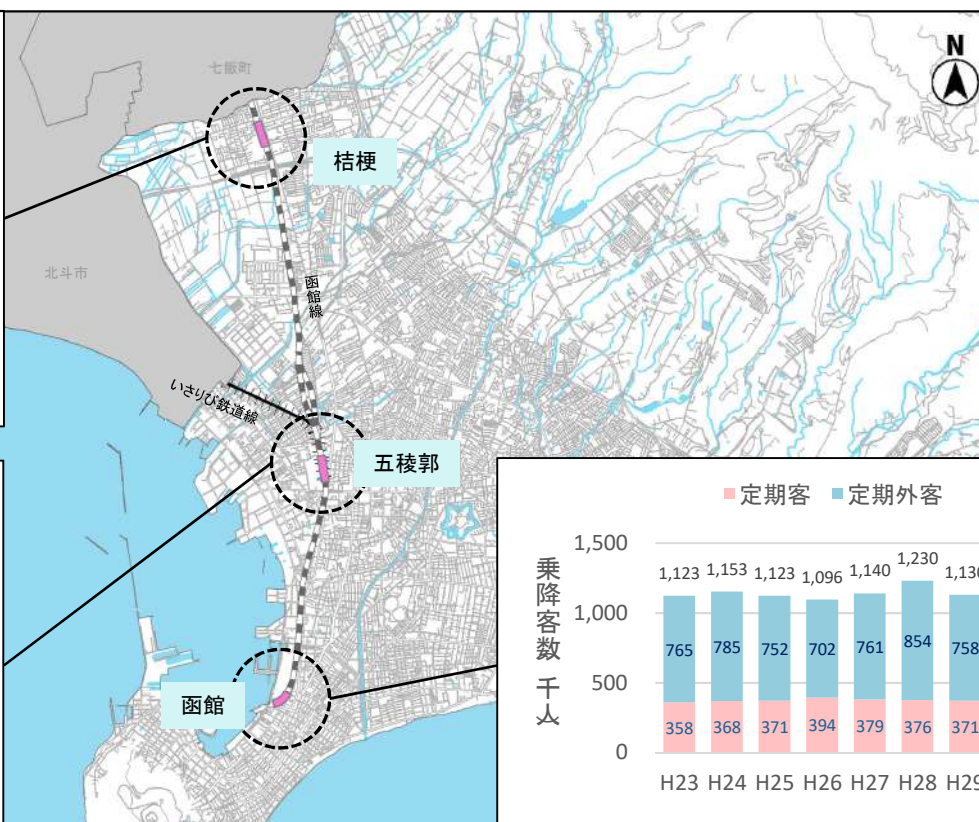
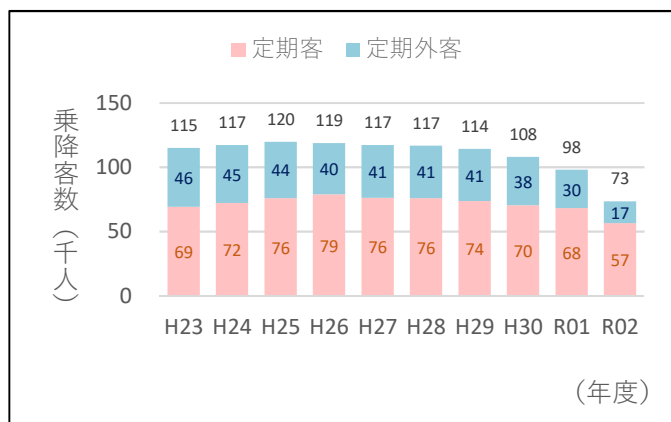
- 函館市内には、JR北海道函館本線と道南いさりび鉄道が運行している。
- 函館市内の鉄道駅は、JR北海道函館本線は「函館」「五稜郭」「桔梗」の3駅、道南いさりび鉄道は「五稜郭」の1駅が存在している。



出典:国土数値情報 鉄道データ

2. 地域公共交通の状況 ④鉄道

- 鉄道駅の乗降客数は、函館駅、五稜郭駅、桔梗駅のいずれも横這いか、減少傾向である。
- R2年にはコロナ禍の影響もあり、大きく減少している。
- 函館駅、五稜郭駅は定期外客の割合が高く、桔梗駅は定期客の割合が高い。

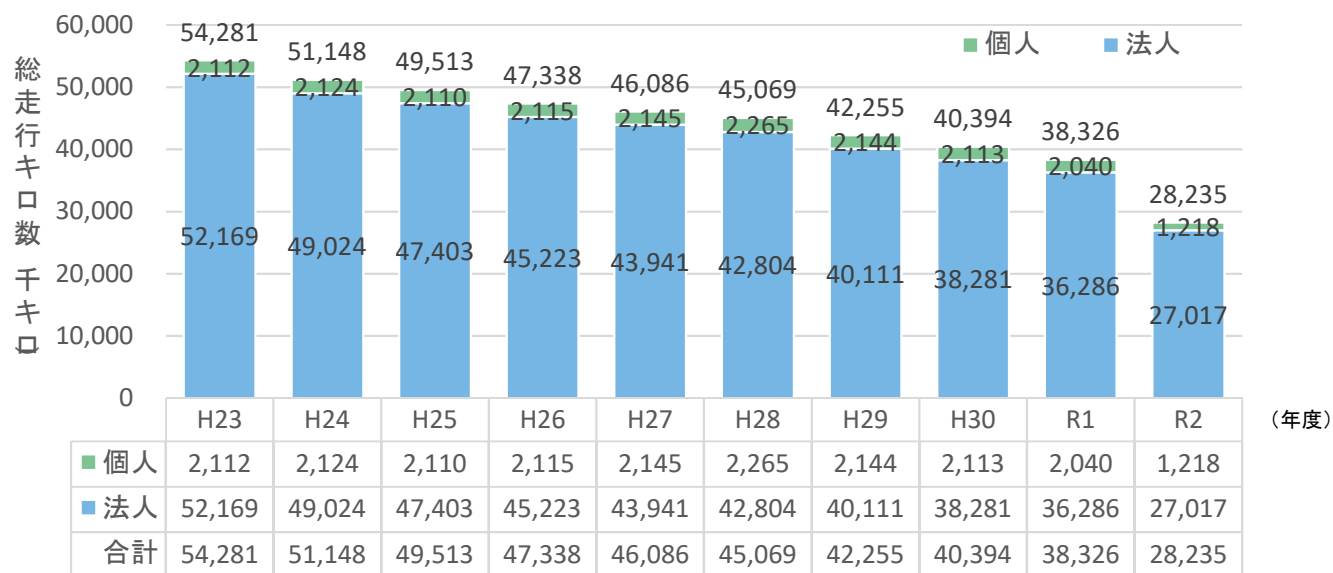


出典：函館市統計書

2. 地域公共交通の状況 ⑤その他(タクシー)

- 函館市にはタクシー事業者(法人15社ほか個人タクシー)が存在している。
- 総走行キロ数は年々減少しており、令和2年ではコロナ禍の影響もあり、平成23年の約半数となっている。

事業者名	
1	moomoo-taxi
2	美咲第一交通
3	北海小型タクシー
4	函館タクシー
5	函館交通
6	函館オーシャンタクシー
7	道南ハイヤー
8	東海ハイヤー
9	相互交通
10	センターハイヤー
11	鈴蘭タクシー
12	ことぶき第一交通
13	北の星タクシー
14	桔梗ハイヤー
15	いさり火ハイヤー
16	個人タクシー協同組合



出典:函館市統計書

3. 移動特性・ニーズ ①調査概要

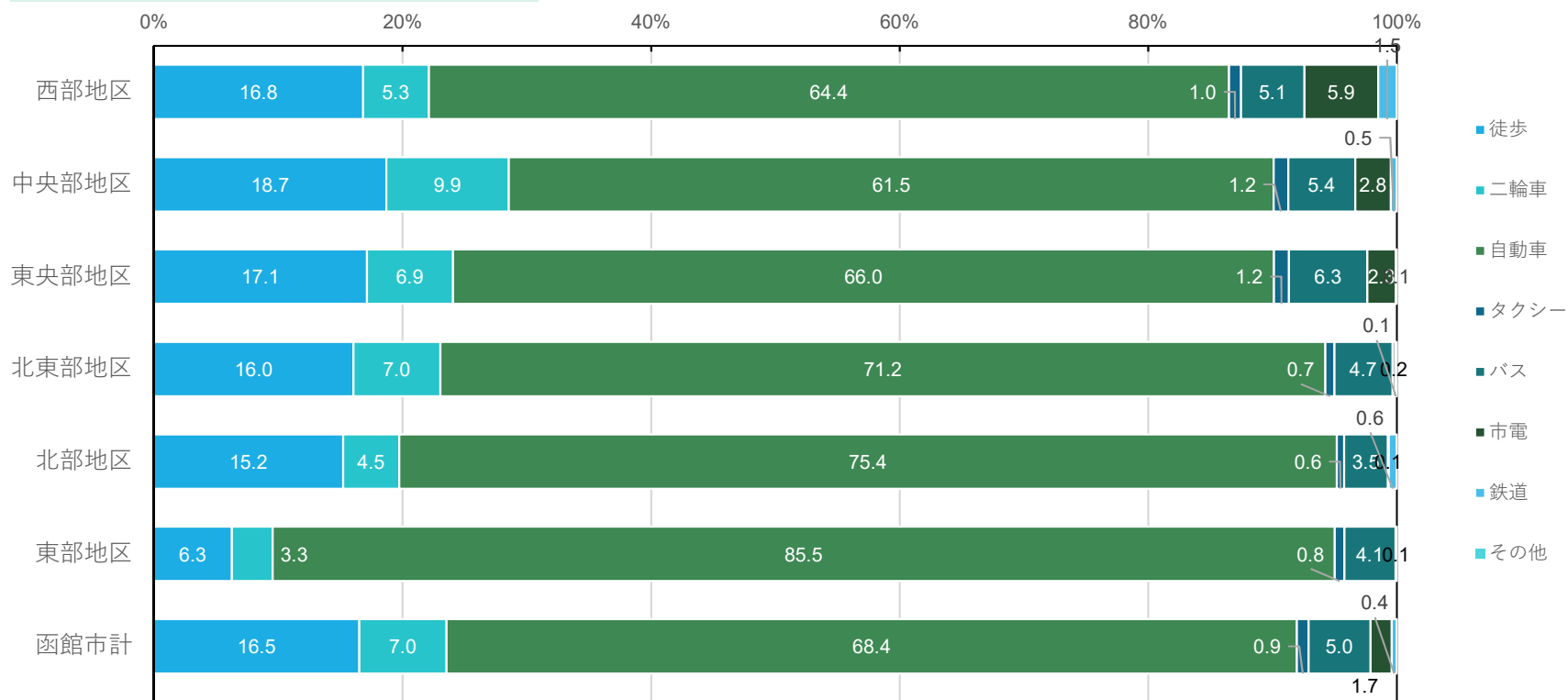
▶ 市内の移動特性・ニーズを把握するため、各種調査や分析を実施した。

		調査時期	調査概要	調査対象
函館圏パーソナルトリップ(PT)調査		2019年	どのような人が、いつ、どのような目的をもって、どこからどこへ、どのような交通手段を使って移動しているかを把握する調査(北海道総合都市交通体系協議会にて実施)	函館圏(函館市、北斗市、七飯町)在住者
バスICカード分析		2018年4月～2021年10月データ使用	函館バス、函館市電で使用される交通系ICカード「ICAS nimoca」のタッチ履歴より、いつ、どこからどこへ移動しているかを把握	ICAS nimoca利用者
住民アンケート調査	一般	2022年9月	日常の外出状況や公共交通の利用状況など、移動に関するニーズ、今後の公共交通施策に関する意向を把握するためのアンケート	函館市内在住者(15歳以上)から無作為抽出891件回答(郵送およびWebによる回答)
	高校生	2022年9月	高校への通学状況や公共交通の利用状況など、移動に関するニーズ、今後の公共交通施策に関する意向を把握するためのアンケート	市内の高校・高専15校に通う生徒(市外在住含む)683件回答
	通勤者	2022年9月	市中心部への通勤状況や公共交通の利用状況など、移動に関するニーズ、今後の公共交通施策に関する意向を把握するためのアンケート	市中心部(函館駅前・五稜郭・美原・湯川エリア)に勤務する通勤者503件回答
	東部地区	2022年10月	東部地区を運行する路線バスの乗り込み調査を行うとともに、車内にて移動目的や利用頻度などに関するアンケート調査を実施	東部地区を運行する路線バスの乗客164件回答
東部地区ワークショップ		2022年10月～11月	路線バスの利用が減少する東部4地区において、今後の地域交通のあり方を地域住民と検討する場として設置	東部地区(戸井、恵山、楳法華、南茅部)住民等
来訪者Webアンケート調査		2022年10月	市外在住者の函館市への移動実績(目的、訪問頻度、交通手段等)、公共交通の利用経験やニーズ等を把握するため、WEBモニタアンケート調査を実施	函館市に過去3年以内に来訪経験がある函館圏外在住者

3. 移動特性・ニーズ ②PT調査

- 市全体では約7割の移動に自動車を利用されており、次いで徒歩が多くなっている。
- 地区別に見ると、西部地区では市電の利用が多く、東中部地区ではバスが他の地域より多く利用されている。
- また、東部地区では、自動車での移動が圧倒的に多く9割近くを占める。

地区別代表交通手段構成比

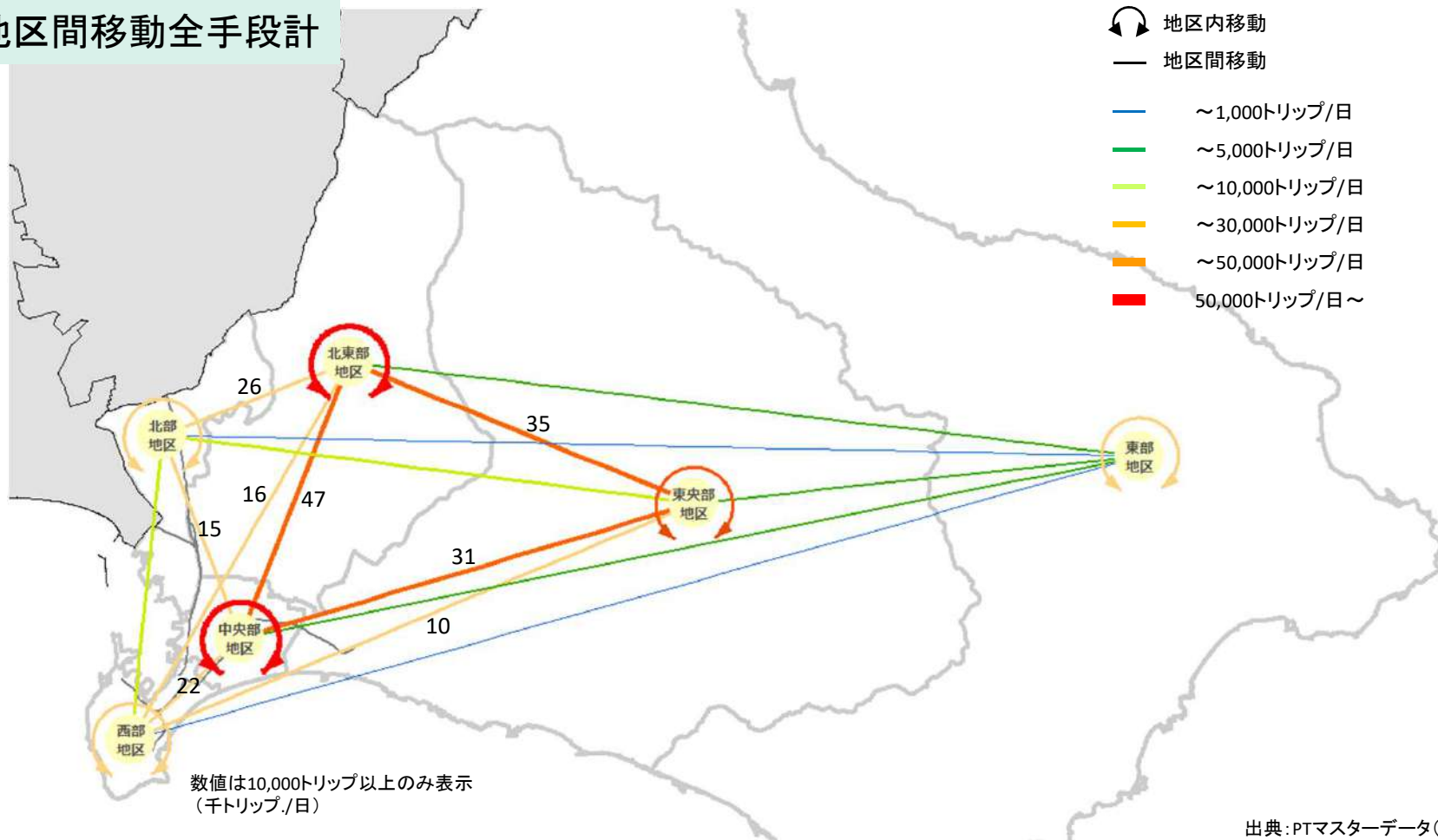


出典：PTマスターデータ(2019)

3. 移動特性・ニーズ ②PT調査

- 中央部地区や北東部地区、東中部地区を結ぶ動きが多くなっており、特に中央部と北東部を結ぶトリップが、約47,000トリップと最も多い。

地区間移動全手段計



3. 移動特性・ニーズ ②バスICカードデータ分析

- バスICカードデータより、各地区を発着するバス停の組合せ上位5位の分析を行った。
- 西部地区では観光目的と思われる動きが多く、中央部地区、北東部地区ではそれぞれのターミナルとなっているバス停間の動きが多い。
- 東央部地区は北東部地区、北部地区は中央部地区との動きが上位を占めている。

◆西部地区

順位	バス停組み合わせ	地区組み合わせ	利用者数 (人/日)
1	函館駅前⇒函館山山頂	西部⇒西部	96
2	函館山山頂⇒函館駅前	西部⇒西部	83
3	函館山山頂⇒登山口	西部⇒西部	41
4	登山口⇒函館山山頂	西部⇒西部	33
5	函館駅前⇒亀田支所前	西部⇒北東部	31

◆中央部地区

順位	バス停組み合わせ	地区組み合わせ	利用者数 (人/日)
1	亀田支所前⇒五稜郭	北東部⇒中央部	83
2	五稜郭⇒亀田支所前	中央部⇒北東部	81
3	医師会病院前⇒五稜郭	北東部⇒中央部	30
4	五稜郭⇒中央小学校前	中央部⇒北東部	28
5	市立函館病院⇒五稜郭	北部⇒中央部	25

◆東央部地区

順位	バス停組み合わせ	地区組み合わせ	利用者数 (人/日)
1	湯倉神社前⇒中央小学校前	東央部⇒北東部	25
2	湯川団地中央⇒湯倉神社前	東央部⇒東央部	21
3	湯倉神社前⇒湯川団地中央	東央部⇒東央部	21
4	亀田支所前⇒湯倉神社前	北東部⇒東央部	20
5	湯倉神社前⇒亀田支所前	東央部⇒北東部	17

◆北東部地区

出典：バスICカードデータ(2021.10)

順位	バス停組み合わせ	地区組み合わせ	利用者数 (人/日)
1	亀田支所前⇒五稜郭	北東部⇒中央部	83
2	五稜郭⇒亀田支所前	中央部⇒北東部	81
3	函館駅前⇒亀田支所前	西部⇒北東部	31
4	医師会病院前⇒五稜郭	北東部⇒中央部	30
5	五稜郭⇒中央小学校前	中央部⇒北東部	28

◆北部地区

順位	バス停組み合わせ	地区組み合わせ	利用者数 (人/日)
1	市立函館病院⇒五稜郭	北部⇒中央部	25
2	五稜郭⇒市立函館病院	中央部⇒北部	17
3	北大前⇒五稜郭	北部⇒中央部	12
4	五稜郭⇒北大前	中央部⇒北部	10
5	五稜郭⇒港小学校前	中央部⇒北部	8

◆東部地区

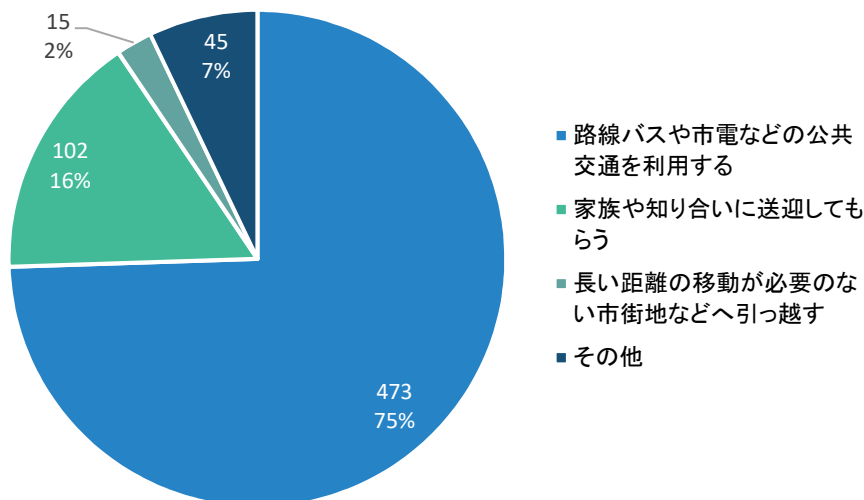
順位	バス停組み合わせ	地区組み合わせ	利用者数 (人/日)
1	南茅部支所前⇒深堀町	東部⇒東央部	6
2	柏木町⇒南茅部支所前	中央部⇒東部	4
3	南茅部支所前⇒湯倉神社前	東部⇒東央部	4
4	湯倉神社前⇒南茅部支所前	東央部⇒東部	3
4	五稜郭⇒南茅部支所前	中央部⇒東部	3

3. 移動特性・ニーズ ③住民アンケート調査(一般)

- 現在、自家用車を運転している人が運転が困難になった場合、約75%は公共交通への転換を考えている。
- また、自分での運転が困難になった場合、約83%の人が外出頻度が減少すると回答している。

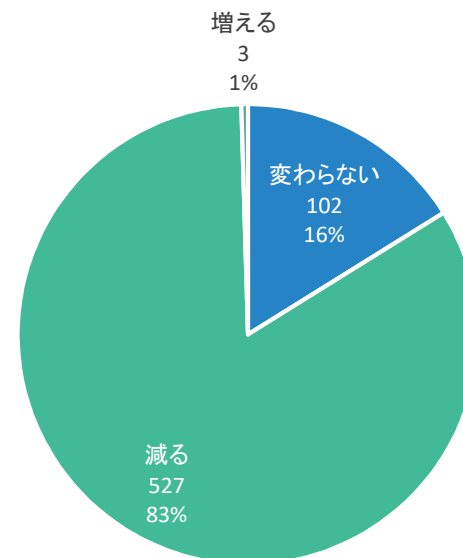
◆運転困難時の対応

Q.あなたは自分で運転が困難になった場合、どのように対応しますか。



◆運転困難時の外出頻度

Q.あなたは自分で運転が困難になった場合の外出頻度について、どのように考えますか。

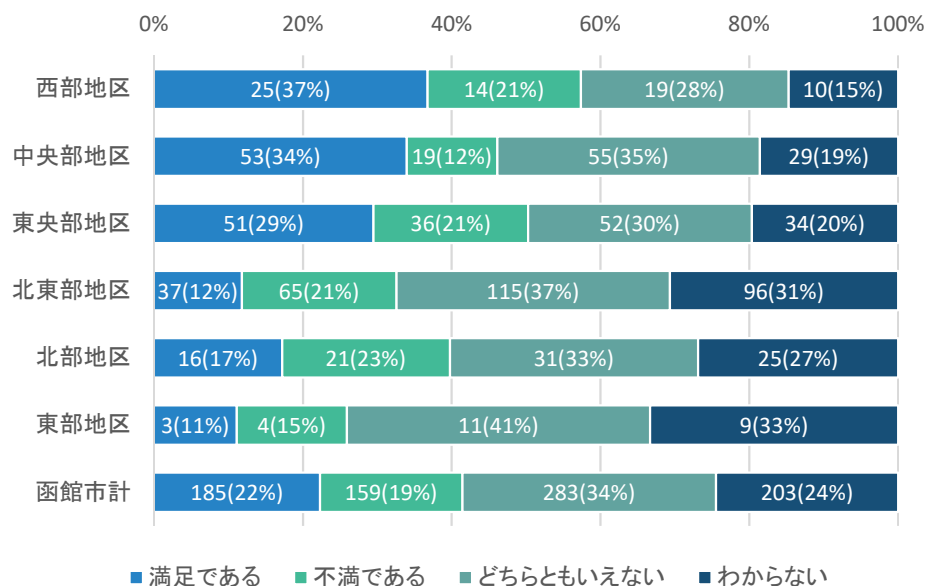


3. 移動特性・ニーズ ③住民アンケート調査(一般)

- ▶ 公共交通への満足度について、西部地区、中央部地区にお住まいの方は比較的満足度が高くなっており、北東部地区や北部地区では不満に思っている方のほうが多くなっている。
- ▶ 公共交通を利用しやすくなる改善点について、運行本数に次いで、路線のわかりやすさや停留所の快適さなどが挙げられている。

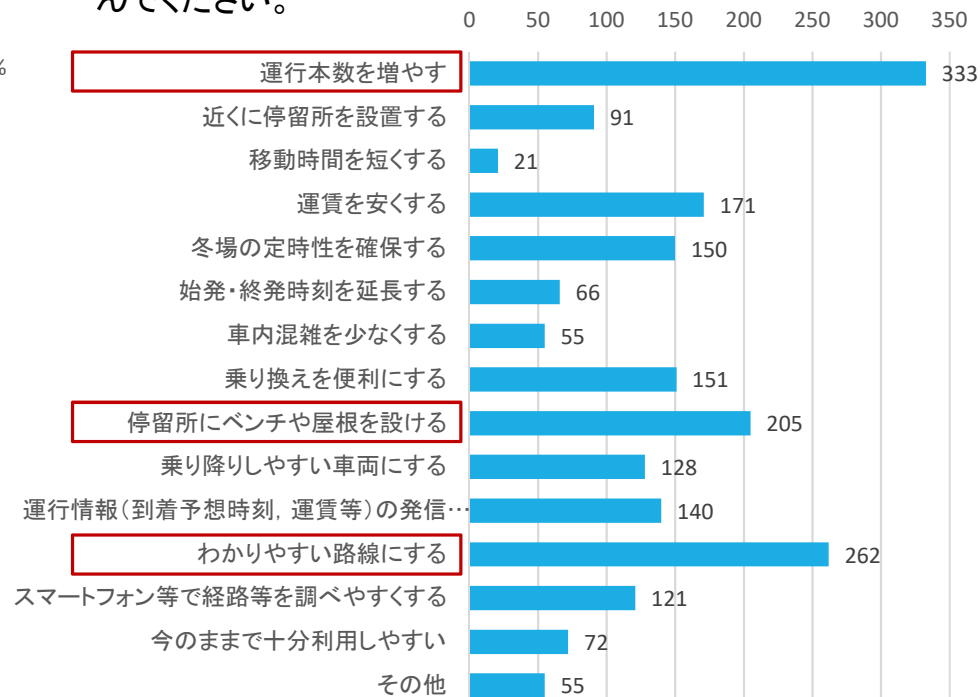
◆公共交通への満足度

Q.あなたは路線バスや市電についてどのように感じていますか。1つ選んでください。



◆改善点

Q.路線バスや市電をもっと利用しやすくするために改善が必要だと思うのは何ですか。必要だと思うものを3つまで選んでください。

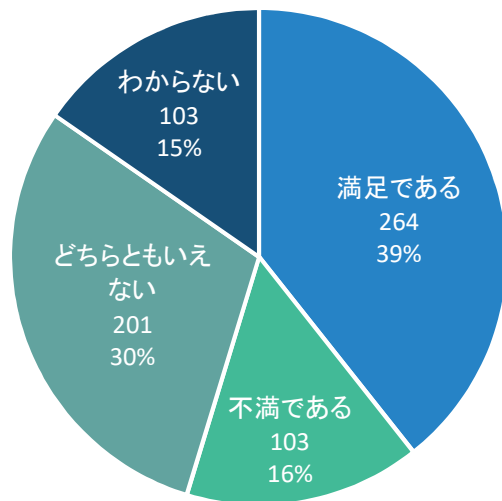


3. 移動特性・ニーズ ③住民アンケート調査(高校生)

- 高校生の公共交通への満足度は約4割が満足と回答し、不満に感じている人は2割弱となっている。
- 公共交通を利用しやすくなる改善点について、運行本数に次いで、車内の混雑や運賃に関する意見が挙げられているが、スマートフォンでの経路検索のしやすさが一般の方より多く意見が挙がっている。

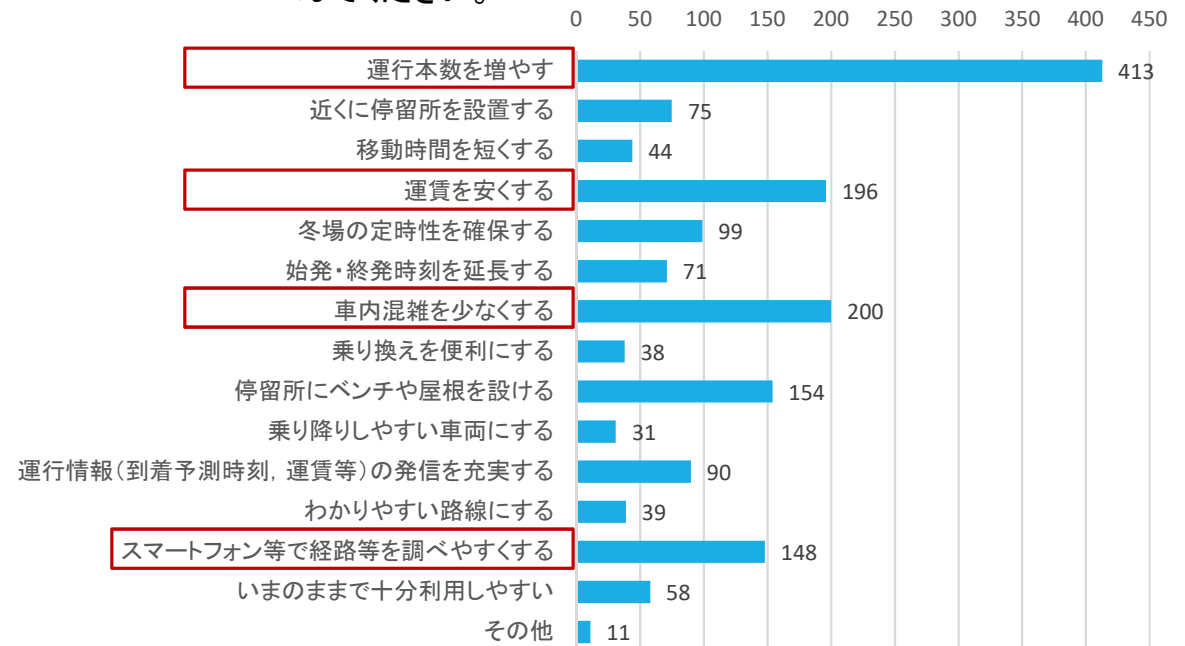
◆公共交通への満足度

Q.あなたは路線バスや市電についてどのように感じていますか。1つ選んでください。



◆改善点

Q.路線バスや市電をもっと利用しやすくするために改善が必要だと思うのは何ですか。必要だと思うものを3つまで選んでください。

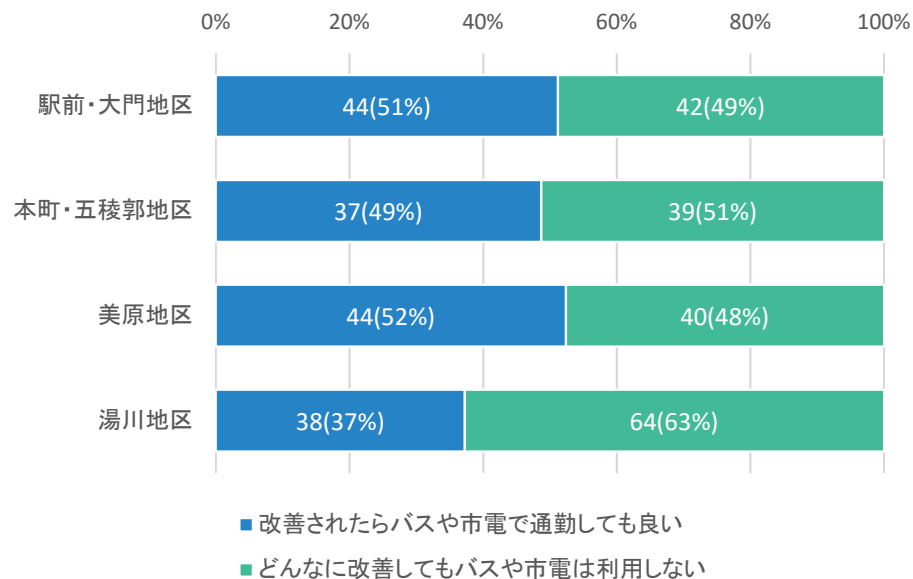


3. 移動特性・ニーズ ③住民アンケート調査(通勤者)

- 市の中心部へ通勤されている方の中で、公共交通への転換が考えられる方は約半数となっている。(湯川地区は4割弱)
- 改善要望としては、運行本数のほか、冬場の定時性の確保が多く意見が挙がっている。

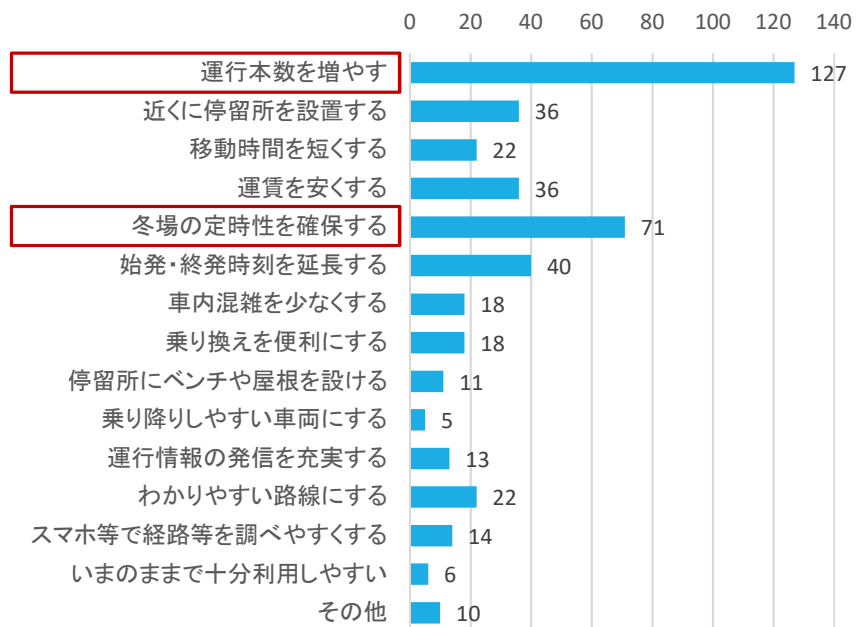
◆公共交通への転換可能性

Q. 今の通勤手段から路線バスや市電に転換することは可能ですか。



◆公共交通へ転換に向けた改善要望

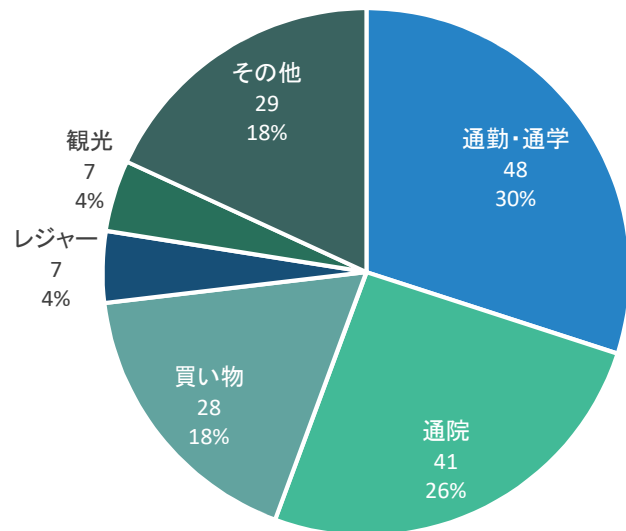
Q. どのような点が向上(改善)されたら、路線バスや市電で通勤しても良いと思いますか。最も望まれるものを3つ選んでください。



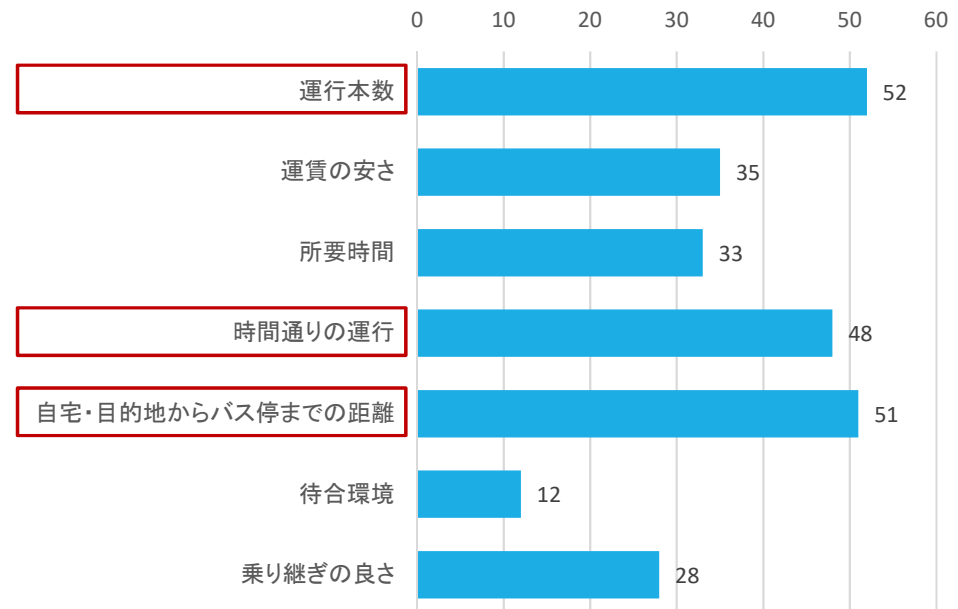
3. 移動特性・ニーズ ④住民アンケート調査(東部地区)

- 東部地区を運行する路線バスの乗客における外出目的は、通勤・通学が最も多く、次いで通院、買い物と続く。
- 公共交通で重視するポイントとしては、運行本数が最も多いものの、バス停までの距離、時間通りの運行も同程度の意見が挙げられている。

◆外出目的



◆公共交通で重視するポイント



3. 移動特性・ニーズ ⑤東部地区ワークショップ

- 2022年10～11月に行われた、東部地区における第1回ワークショップでは、地域住民から現状の公共交通の利用状況、不満点や、改善要望等が挙げられた。

地区	実施日	主な意見
戸井地区	10/29(土)	移動販売サービスにより、ある程度日用品は手に入るものの、取り扱う種類が少ないため、買い物に行かなければならないこともある。 地区内の病院に朝のバスで訪れるが、診察後の帰りのバスがなく、1時間弱歩いて帰宅する人もいほど、帰りの不便さに困っている。
恵山地区	10/23(日)	学生の通学用のバスは維持してほしい(既に部活動をあきらめている生徒もいる)。 バス停の間隔を狭くし、家からバス停までの距離を短くしてほしい。
椴法華地区	11/16(水)	運賃が高い。時間が合わず、通学や買い物の利用に不便である。家からバス停までが遠い。乗換え地点となっている日ノ浜団地の停留所にはプレハブ小屋しかなく、迎えを待つ環境が整っていない。
南茅部地区	11/2(水)	通院・通学のための便(平日6時台、19時台)と、休日の活動や娯楽のための便(休日8時台、16時台)は維持してほしい。運賃を下げしてほしい。通学・通院に都合の良い時間に目的地に着く便がほしい。

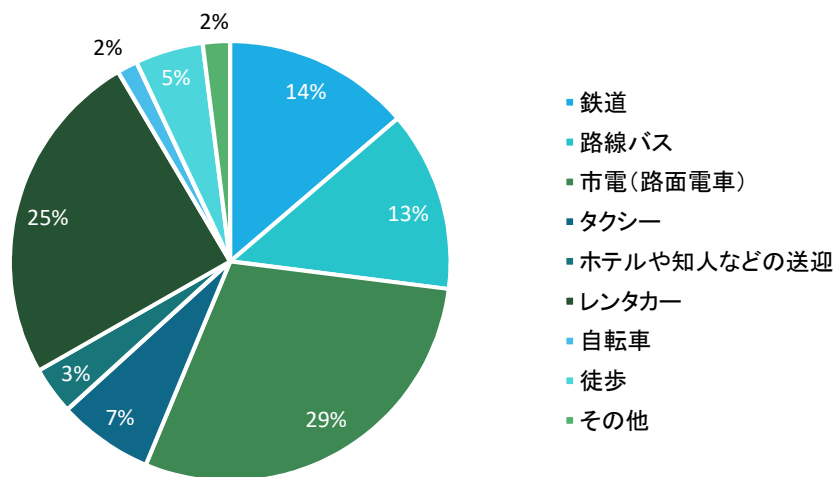
地域住民からは、路線バス廃止への懸念から、日中のバス小型化や、予約制バスによる継続希望の意見が寄せられた。

3. 移動特性・ニーズ ⑥ 来訪者アンケート調査

- 移動手段としては市電、レンタカーの順に利用が多い。主な観光施設が市電沿いにある影響が考えられる。
- 実際に公共交通機関を使用した人の9割以上が満足な意向を示した。

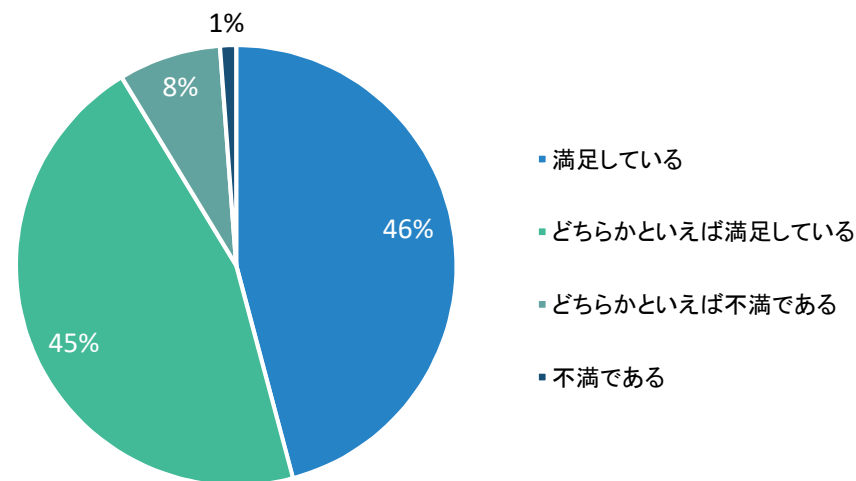
◆市内の移動手段

Q. 函館市内で主に利用した移動手段をお答えください。



◆公共交通への満足度

Q. 公共交通を利用した満足度をお答えください。

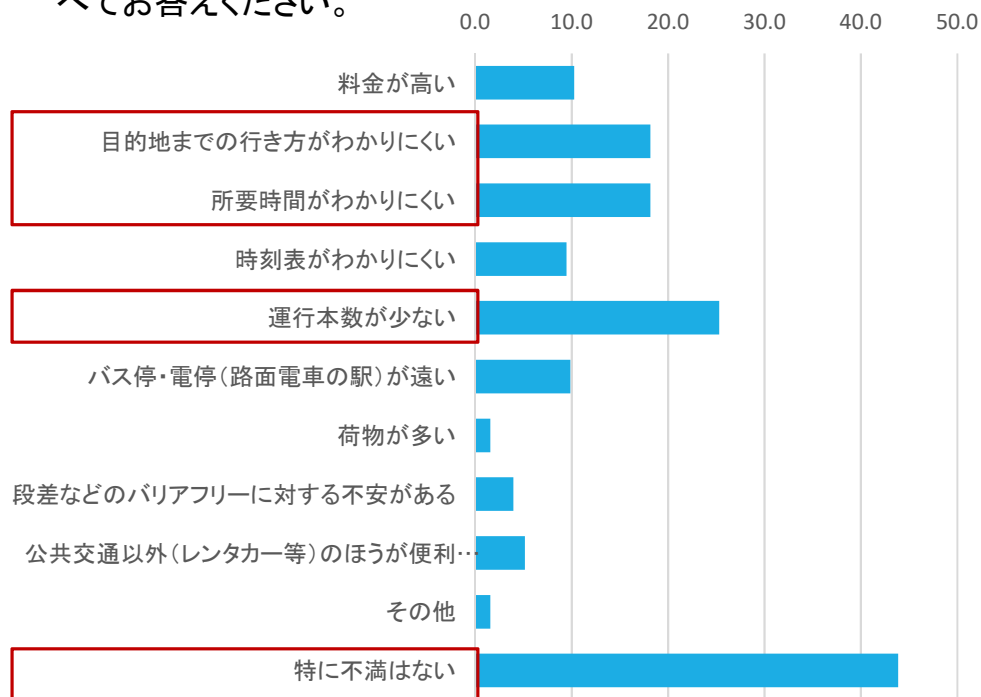


3. 移動特性・ニーズ ⑥ 来訪者アンケート調査

- 公共交通を利用した感想として、9割を超える人が「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答したが、不満の意見として運行頻度、利用しやすさ、所要時間が多く挙げられた。
- 公共交通手段を選択しない理由として、レンタカー等のほうが便利であることが多く選択された。
- 次いで、荷物が多いことや頻度、利用の分かりにくさを選択する人が多かった。

◆公共交通を利用した感想

Q. 函館市内で公共交通を利用して感じた意見についてすべてお答えください。



◆公共交通を利用しなかった理由

Q. 函館市内で公共交通を利用しなかった理由を全てお答えください。

